



おおもとくにみつ
大本邦光議員

環境保全のための 外来種対策は

議員 笠岡市における外来種の実態及び被害状況をたずねる。

市長 本市では、昨年9月15日に神戸港から陸路で運ばれた積み荷から、ヒアリ一匹が発見されたが直ちに殺虫処分をし被害発生はない。また、国や県と協力して実施した周辺の分布調査でも新たなヒアリは発見はされていない。他、農作物に被害を及ぼしているヌートリアの駆除をしており、本年度は110匹以上捕獲している。

議員 干拓での野菜工場におけるバイオマス原料は輸入と聞くが、水際対策をたずねる。

市長 輸送経路の制限や、在庫置き場を常に公開する等、万一のことを考え、今後協議していく。



路面下の空洞化対策 を問う

議員 道路は産業を支える根幹であり、災害時は緊急輸送路として市民の生命を守る重要な役割を果たす。路面下等の空洞化の危険性に対する認識をたずねる。

市長 空洞化は、何かのきっかけで突然に陥没し、事故につながる可能性が高く、災害時には大きな支障となるため、早期発見と陥没が発生した場合に速やかに安全対策を講じることが大切である。

議員 マイクロ波を活用した高解像度センサーなどの最新の技術を活用すべきではないか。

建設部長 技術も着々と進歩しており、実際に空洞化調査が必要な箇所については、そうしたことも考えながらやっていく。



いぎ まもる
井木 守議員

制度変更に伴う国保税 の引き上げはやめよ!

議員 国民健康保険の制度変更に伴う、県への事業納付金のうち、1人あたりの増加額はいくらか。また、一般会計からの繰り入れや基金の取り崩しで、保険税の引き上げを抑制すべきではないか。

市長 一人当たりで7868円増加する見込みである。数年来、国保基金の取り崩しが続いており財政は厳しく、一般会計からの繰り入れは適さないと考えている。

議員 全国では、子どもに係る国保税の均等割について減免措置を設ける自治体が出ている。子育て支援の観点から笠岡市も検討すべきではないか。

市長 国において検討課題とされており、国の動向を見守りたい。



子どもが安心して入院 できる病室整備を求める

議員 笠岡市民病院に子どもを安心して入院させられるよう、病室の整備を行う必要があるのではないか。また、個室料金を取らないなどの配慮も必要ではないか。

市長 市民病院には、小児用の病室・個室はなく、一般病棟で対応してきたが、現在は特別室を利用していただいている。

病院管理局長 小児優先で対応できるように、2室のリニューアルを検討している。インフルエンザなど感染症等の場合は現在も室料は無料にしている。小児用の室料についても、6月議会にむけて検討中である。

※その他、要介護者の障害者控除の認定についても質問しました。